

E3系新幹線こまち、つばさ（連結仕様）後尾車両の修理法

2016.02.08/2022.07.14 改訂

トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名はプラレール®の「E3系0番台新幹線こまち(連結仕様)」の後尾車です。



同じE3系には、「E3系1000番台新幹線つばさ(連結仕様)」の後尾車もあります。

また同じ「E3系1000番台新幹線つばさ(連結仕様)」にも違うデザインの後尾車もあります。



2. 特 徴

E3系新幹線(連結仕様)は3両編成で、先頭車両にモーターがあり、後尾車両にはマグネット連結器が付いています。天面にある連結スイッチレバーを引くことで、連結器が出てきます。

連結器は磁石ですので、同じ連結器の付いた他の車両と接続し、引っ張られる側の車両の電池を抜き、その先頭車の走行用スイッチをOFFにして走らせてください。

使い方は、タカラトミーのホームページ、

http://www.takaratomy.co.jp/products/plarail/tettei/set/13_05_pte/index.htm

を参照してください。

3. 故 障

連結スイッチレバーの高さが低く、また操作に力がいらいます。そのため連結器の出し入れにスムーズ感がなく、故障ではないがレバーが固いという修理依頼が時々あります。

また機構部が壊れ、連結器が全く出てこないという故障もあります。

E3系新幹線こまち、つばさ（連結仕様）後尾車両の修理法

4. 修理

（1）車体の取り外し

底面のビスを1本外します。

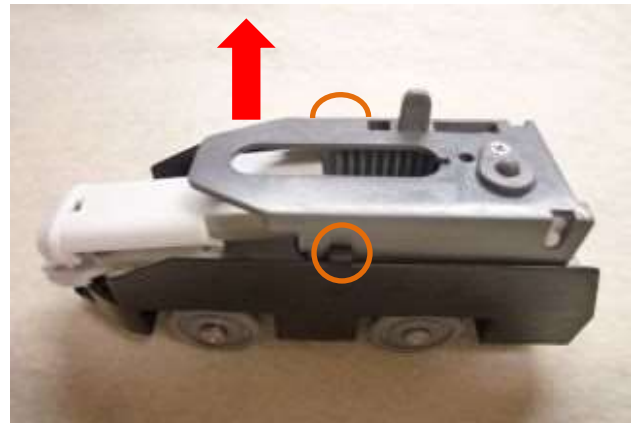


（2）連結スイッチレバー部の分解

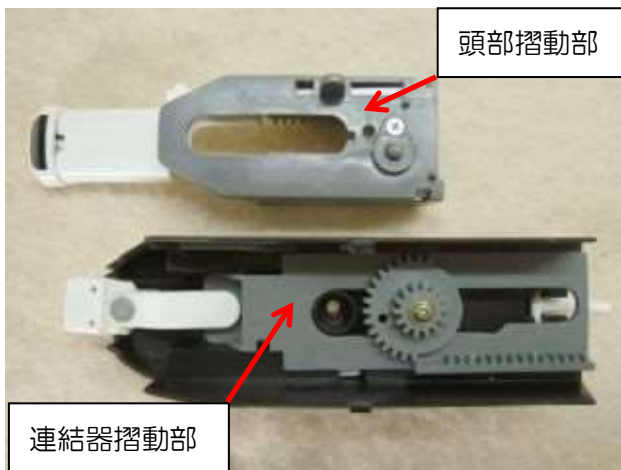


連結スイッチレバー部の下部にある、球状突起部固定板のビス（赤丸内）は、外す必要はありません。

連結スイッチレバー部の両サイドの、爪状の係合部（柿色丸）の2カ所を外側に押し広げ、台車から上に外します。



（3）頭部および連結器の摺動機構の点検



連結スイッチレバー部、言い換えると頭部摺動部を外すと、下写真のようになります。

これらの形状は、E2系新幹線（連結仕様）と同じです。

従って、以降については、メカの修理のヒント「[E2系新幹線（連結仕様）後尾車両の修理法](#)」を参照にしてください。

完 成

終わり